

令和3年4月9日

石巻市議会議長 大 森 秀 一 殿

会 派 名 ニュー石巻  
代表者氏名 会長 阿 部 欽一郎

## 調査報告書

調査した概要は次のとおりであります。

### 記

- 1 調査者氏名 阿部 欽一郎、阿部 久一、奥山 浩幸、高橋 憲悦、  
遠藤 宏昭、 楯石 光弘、佐藤 雄一、阿部 浩章、  
安倍 太郎、 木村 忠良、森山 行輝、丹野 清
- 2 調査期間 令和3年4月5日（月） 1日間
- 3 調査地 セイホクパーク石巻フットボール場（教育委員会所管）、  
防災マリーナ（建設部所管）及びMEET門脇
- 4 目的 昨年に芝の状況が悪化したフットボール場の状況を確認するもの。  
また、5月から一部利用開始となる防災マリーナの整備状況や、3月  
に震災伝承交流施設として開設されたMEET門脇を視察するもの。

## 5 調査概要・所感・調査による石巻市への政策提言等

### ○ 調査概要

#### ①セイホクパーク石巻フットボール場

教育委員会体育振興課より芝生の改善状況について説明を受け、その状況を視察。

#### ②防災マリーナ

完成されたボートの保管場（ボートヤード）、駐車場、管理棟（クラブハウス）及び作業棟（修理工場）等を視察。

#### ③MEET門脇

審査伝承のための写真展示等を視察。

### ○ 所感

#### ①セイホクパーク石巻フットボール場

芝生の養生については、施工業者を（株）鶴岡殖産から（株）志摩緑化サービスの変更し、芝生の育成を図っている。

手取除草、ペリット除去、散水を実施。ラグビーインゴール部においては、バーチカルを実施しており、4月5日現在の状況は、ある程度の回復が見られる。担当者の説明によれば5月中に回復するとのことであり、期待したい。

#### ②防災マリーナ

ボートヤード、駐車場、管理棟及び作業棟は完成されているが、係留施設や上下架施設が未完成である。係留施設は6月から、上下架施設は8月から利用開始とのことであるが、1日も早い完成が望まれている。

#### ③MEET門脇

震災伝承交流施設であるが、視察時は平日でもあり、入場者はあまり多くないようであったが、隣接する石巻南浜津波復興祈念公園の「みやぎ東日本大震災津波伝承館」が開館されれば、相乗効果により、より多くの人々の利用が期待されると思料する。

### ○ 市への政策提言等

#### ①セイホクパーク石巻フットボール場

セイホクパーク石巻フットボール場及びふれあいグラウンドの芝生の管理について、NPO法人石巻スポーツ協会を指定管理者として管理運営を委任していたが、同協会の委託業者が経験不足等により、芝生の管理に不備が出て、芝生が不良な状態に至ったと思われる。

教育委員会としても、指定管理者に管理運営を委任して終わりではなく、管理運営状況等も注意深く見守っていく必要があると思われるとともに、同協会の委託業者の選定についても指導・助言していく必要があると思われる。

## ②防災マリーナ

完工が令和3年8月であり、それ以降の利用開始が見込まれる。

しかしながら、指定管理者である（株）野村モーターズ代表取締役の野村氏も危惧されているが、マリンスポーツ需要は震災前と比して大きく落ち込んでいることが予想されており、市財政の負担とならないように指定管理者の自主事業について色々考えているようであるが、市としても指定管理者と一体となり、広告宣伝の徹底、石巻のみならず全国への情報発信、定期的なイベント等を実施していく必要があると考えられます。

## ③MEET門脇

民間施設であることからコメントを差し控えます。

しかしながら、大川小学校や門脇小学校等の震災遺構や復興のシンボルとなる商業・観光施設との連携による震災復興ツーリズムとして、震災を伝え、学ぶ魅力的なプランやプログラムを提供するとともに、コロナ終息後においては、小中学校の教育旅行の誘致を推進していく必要があると思われる。

6 調査経費                    37,100円